

虐待・虐待疑いを未然に防ぐにはどうすれば..?

「要因別」の対策で発生リスクを最小限に!

利用者家族から疑われたときの
対応が分からない……



研修は行ってるけど、
それだけでは対策として不安……

— こんな方におすすめ —

発生要因別でズバリ解説!

すぐ取り組める 介護施設・事業所の 虐待防止対策ブック

【著】 山田 滋

【仕様】 A5判 202頁

【定価】 2,970円 (本体 2,700円+税 10%)

「ついやってしまった」
を防ぐ!
組織で取り組む
虐待防止の決定版



発生要因別でズバリ解説!

山田 滋 著

すぐ取り組める 介護施設・事業所の 虐待防止対策ブック

発生させない体制づくりから
虐待を疑われないための日常対応のポイントまで

「虐待の疑い」を防ぐ
「原因不明の傷・アザ・
骨折への対応マニュアル」
を収録!



第2巻 組織で取り組む虐待防止策—6つのケースで考える虐待発生の原因と対策

2 近年発生している6つのパターンの原因と対策

1 理性を失って虐待してしまうケース

(1) 原因分析

なぜ、介護職員は理性を失い感情のコントロールができなくなってしまっているのか? 介護職員の側の原因だけでなく、利用者の状態や施設の業務環境などさまざまな要因が存在します。ここでは、①入所者・利用者の要因、②介護職員の要因、③職場環境の要因に分けて考えられます。

①入所者・利用者の要因

入所者や利用者が重いBPSDを起こすのはなぜでしょうか? 「認知症の人はBPSDを起こすが当たり前」と考えず、BPSDの原因を分析して対策を講じてBPSDを減らせば、虐待の防止にもつながります。

①入所者・利用者の体因：痛みや寝み、向精神薬など

認知症の人は体因調整のために、重いBPSDを起こす人がたくさんいます。訴えられない痛みを我慢していることや不快な寝みもBPSDの原因とされます。また、BPSDの抑制のために処方される向精神薬の副作用、かえって症状の悪化を招いているとの指摘もあります。



POINT
近年発生している6つの虐待パターンに対し、細分化した「原因分析」とその要因ひとつひとつに対する「対策」を解説!

第4章

「虐待疑い」を防ぐ 原因不明の傷・アザ・骨折への対応

いつできたかわからない傷やアザを巡って、家族とトラブルになることがあります。また、「寝たきりの入所者がいつの間にか骨折していた」という事故も、治療費の負担などを巡ってかなり深刻なトラブルになっています。これらのトラブルは最悪の場合、「虐待ではないのか?」という疑念を招き、施設や事業所の対応が悪いと役所や警察への虐待通報につながることもあります。

このような家族トラブルが起こると、介護現場では、「もっていぬいに介助する」「もっと注意深く介助する」といった対策になることが多いのですが、原因不明の傷もアザも骨折も、未然に防止することは困難です。人は生活していれば傷やアザが付くことはありますし、寝たきりで骨の弱っている入所者・利用者は、どんなにいいぬいに介助しても骨折することは避けられません。

このような防ぎきれない疑念のタネになるような厄介な事故は、事故が起きたときにトラブルにならない対応をマニュアル化すればよいのです。筆者らは、「原因不明の傷・アザ・骨折対応マニュアル」を作って現場で徹底しているのです。これらの事故が起きても一切トラブルにはならず、とあります。



POINT
未然の防止が難しい「原因不明の傷・アザ・骨折」に対する対応マニュアルを掲載! 家族トラブルを防ぐリスクマネジメントのヒントが見つかる

事例10

入所者から主任に職員を名指して「はたかれた」と虐待の訴え

●事例の概要

- ・特別養護老人ホームで、軽度認知症の女性入所者Sさんが職員Mさんからの虐待を訴える事件が発生。Sさんは腹に痛みがあることを示し、Mさんが自分をたたいたと主張
- ・Mさんは、虐待を否定し、Sさんが自分でぶつけたのを誤解している可能性を示唆
- ・施設長は主任と相談員との間で対応を相談するも、主任はすぐに虐待の通報を、相談員は家族との話し合いを提案し、対応方針が決まらない状況に
- ・娘がSさん本人からその話を聞き、施設長に被害を訴え、施設が虐待を隠そうとしていると市に通報

●事例

ある特別養護老人ホームで職員からの虐待を訴える事件が起きました。軽度認知症の女性入所者Sさんが「Mにはたかれた、見た、はたかれた」と訴え、職員を名指して主任に訴えてきたのです。確



POINT
実際に起こった12の事例をもとに、問題点と適切な対応方法を解説しているから、実務に落とし込むことができる!



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
https://www.daiichihoki.co.jp

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

第1章 高齢者虐待が施設・事業所にもたらすリスク

- 1 高齢者虐待とは
- 2 施設・事業所の責務
- 3 虐待発生の現状と背景
- 4 虐待防止対策の現状と改善の考え方

第2章 現場で取り組む虐待防止策—6つのケースで考える虐待発生の原因と対策

- 1 近年発生している6つのパターンとは？
- 2 近年発生している6つのパターンの原因と対策
 - I 理性を失って虐待してしまうケース
 - II 職場のモラル低下で複数人により虐待するケース
 - III 著しく適性を欠く職員が虐待するケース
 - IV 家族のハラスメントへの反抗から虐待するケース
 - V おもしろ半分のおふざけで虐待するケース
 - VI センサーマットの頻回なコールが虐待を引き起こすケース

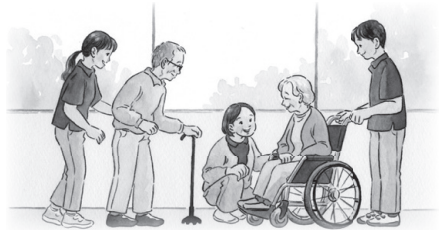
第3章 虐待事故・「虐待疑い」発生時の対応

- 1 虐待行為の事実が確実に把握できるケース
- 2 本人が虐待されたと訴えているケース
- 3 家族が虐待の事実・疑いを訴えているケース
- 4 第三者が市町村などに通報・告発するケース
- 5 警察に通報され捜査が開始されるケース

第4章 「虐待疑い」を防ぐ原因不明の傷・アザ・骨折への対応

原因不明の傷・アザ・骨折への対応マニュアル

- 事例1 入浴前の更衣で暴れた入所者に髪をつかまれ手首を強く握った
- 事例2 夜勤帯に認知症入所者のBPSD対応で押し倒してしまった
- 事例3 「虐待が犯罪だとは考えていなかった」と語った職員
- 事例4 入所者に聞こえないように暴言を吐き、「虐待ではない」と言う職員
- 事例5 入所者の顔写真を加工して楽しむ介護職員、「虐待だから処分しろ」と言う家族
- 事例6 入所者に坊主頭の被り物を載せて写真に撮った
- 事例7 転倒回避のために腕を握ったらアザになり虐待の疑い
- 事例8 持病の悪化で受診すると足のアザを医師が発見し虐待通報
- 事例9 10日間のうちに2回も骨折、「わざと転ばせている」と苦情申立て
- 事例10 入所者から主任に職員を名指しで「はたかれた」と虐待の訴え
- 事例11 市の介護保険課から「虐待の通報があった」と電話
- 事例12 「職員からの虐待」というメールによる匿名の告発クレーム



詳細・お申し込みはコチラ
<クレジットカードでもお支払いいただけます>

第一法規ストア

検索

CLICK!



申込書

発生要因別でズバリ解説！すぐ取り組める介護施設・事業所の虐待防止対策ブック
 —発生させない体制づくりから虐待を疑われないための日常対応のポイントまで—

●定価：2,970円（本体2,700円＋税10%） [コード 047928]

*弊社宛直接お申し込みいただく場合、一回のご注文でお届け先が一箇所、お買い上げ合計金額5,000円(税込)以上のご注文は、国内配送料サービスといたします。
 *また、お買い上げ合計金額5,000円(税込)未満のご注文については、国内配送料550円(税込)にてお届けいたします。
 *消費税は申込日時の適応税率に依ります。

申込部数 部

取扱い

この申込書は、ハガキに貼るか、このままFAXで下記宛お送りください。

■宛先
 〒107-8560
 東京都港区南青山2-11-17
 第一法規株式会社
 ☎FAX.0120-302-640

書店印

介護虐待対策 (047928)
 2025.2 NA

〒		年	月	日
ご住所		<input type="checkbox"/> 勤務先		
		<input type="checkbox"/> 自宅		
事業所名	部署名	請求先	<input type="checkbox"/> 会社・(公用)事務所	
			<input type="checkbox"/> 個人(私用)	
フリガナ ご氏名	様印	事業所・ 自宅TEL		
		携帯TEL		
FAX	E-mail			

- お支払方法
- 代金引換により支払う
 - 商品到着後請求書により支払う

【代金引換手数料について】
 一回あたりのご購入金額（商品の税込価格+送料の合計）に応じて、以下の手数料が発生いたします。
 1万円以下の場合330円(税込)/3万円以下の場合440円(税込)/10万円以下の場合660円(税込)
 ※送料・代引手数料を含む合計金額は商品のお届け時に配送業者に現金でお支払いください。
 ※その際クレジットカードはご利用いただけません。